

大館矢立ハイツ 市へ移管

内外一新、再開は6月1日

市への経営委託へ向け、雇用促進事業団および県によって進められていた大館矢立ハイツの再整備は、先月下旬、増改築工事が終了し、三月一日付で市へ施設が引き渡されました。今後は営業スタッフの研修や施設の試運転を経て、六月に再オープンする予定です。



新しい矢立ハイツが姿を現しました

増改築工事が終了、施設を市へ移管

雇用促進事業団が開設し、県が経営していた勤労者福祉施設「大館矢立ハイツ」は、利用率の低下や温泉の湧出停止などから六年三月に営業を停止、雇用促進事業団および県による施設の増改築や温泉のボーリング、駐車場整備、累積赤字の解消などを条件に、市への経営委託が決定していました。

このため、市では、矢立ハイツの管理運営事業や各種勤労者福祉増進事業を行う「財団法人大館市勤労者福祉事業団」を一月二十日に設立しました。矢立ハイツに勤務する職員についても採用試験を行い、四月一日付での採用を予定するなど、再オープンへ向けての諸準備は順調に進んでいます。

一方、雇用促進事業団では、市への経営委託の条件となっていた施設の増改築工事を昨年三月に発注、先ごろ完成したことから、去る二月二十一日に最終検査を行いました。

そこで、市では三月一日付で矢立ハイツの施設の引き渡しについての文書を雇用促進事業団および県との間で取り交わしました。矢立ハイツの管理は、三月中は市が行い、四月一日付で勤労者福祉事業団へ委託する予定です。勤労者福祉事業団では、以後二カ月間営業スタッフの研修や施設の試運転などを行い、再オープンに備えることとなります。

大広間には秋田杉材を多用

増築された本館棟は鉄筋コンクリート四階建てで、床面積一千九百二十九平方メートル（五百三坪）。一階に百二十人収容のファミリーストランや喫茶コーナー、観光お土産品などを販売する売店、フロント・ロビーなどを設けています。

二階にはスナックや四十人収容のセミナー室、和室の大広間などが配されます。大広間には秋田杉をはじめとした木材がふんだんに使用され、天然秋田杉美林に囲まれた矢立ハイツのシンボリックなものに仕上がっています。

宿泊棟の床面積は八百五平方メートル（二百四十四坪）。鉄筋コンクリート二階建てで、五人用の和室六室と四人用の和室五室を備えるほか洋室等を備え、宿泊定員は八十二人になっています。

宿泊棟の目玉は新設されたカラオケルーム。四室を備えるこの施設

設は従前の浴室を改装したものです。各室の定員を二十人、十人、七人、五人と別々に設定し、利用人数によって部屋の広さが選べるようになっています。

新たに増築された浴場棟は鉄筋コンクリート平屋建て。床面積は六百平方メートル（百八十二坪）で、なかでも浴室は、男女それぞれに百二十平方メートル（三十六坪）と、従前の浴室の三・三倍もの広さが与えられています。浴室内にはサウナルームも設置されています。また、浴室の窓からは矢立峠の風景が一望出来るようになっていて、温泉保養施設らしい情緒もきっちり確保されています。

潜在能力を發揮し魅力ある保養施設に

矢立峠は天然秋田杉林をはじめとした美しい山並みや温泉に囲まれた好環境にあり、観光資源として高い潜在能力を持っています。また、秋田・青森県境の国道7号沿線に位置し、高速道路のインターチェンジも近くに控えていることから、大館市・秋田県の玄関口としての役割も担っています。

内外装のリフレッシュを終え、いよいよ全体像を現した矢立ハイツは、このように恵まれた周辺環境の中、魅力的な観光・レクリエーション施設へと生まれ変わって、六月一日、再デビューを果たします。